



とらのもん

発行 全国醸造機器工業組合

〒104-0054 東京都中央区勝どき2-18-1-518

TEL 03 (5548) 5890 fax 03 (5548) 5895

2月に咲く花 ホトケの座

VOL. 38

e-mail zjkk@zjkk.or.jp http://www.zjkk.or.jp

08年新春セミナー&賀詞交歓会 in 松本楼!

去る1月21日、東京日比谷松本楼において平成20年「新春セミナー」ならびに「賀詞交歓会」が開催された。セミナーでは今話題の「バイオエタノール」をテーマとしてサッポロエンジニアリング(株)の渡理取締役を講師として招き、つづく賀詞交歓会には経済産業省の担当課長補佐、日本酒造組合中央会の担当理事などのご来賓を含め35名がつどい、業界の更なる発展に向けた活発な意見交換がなされ、盛況のうちに終了した。

第1部 新春セミナー

開会挨拶：井上副理事長

今、テレビ・新聞等でも大変話題になっているテーマでのセミナーを企画した。

我々醸造機器と、お客様である発酵醸造メーカーさんにとっても、バイオエタノールがどういう影響又はビジネスチャンスになるのか。日頃詳しく知る場がない中、今回このテーマでお話を聴く機会を得たもの。



講師 サッポロエンジニアリング(株) 取締役 渡里彰氏

「バイオエタノールの現状と日本での取り組み」

講演骨子

①世界のバイオエタノール状況 ②日本のバイオエタノール事情 ③バイオエタノール製造コスト ④バイオエタノール製造技術 ⑤サッポログループの取り組みについて
講演終了後は質疑応答がなされ、組合員の関心の高さを示した。

(詳細はP 3に掲載)

第2部 賀詞交歓会



賀詞交歓会の模様は、次ページに掲載!

藤原理事長 開宴挨拶(要旨)
今年に変革の年! わが醸造機器メーカーも、食の安心安全について、従来当たり前と思われていたものに対して今年に変革(チェンジ)をしなければいけない。
頭を切り替えることによって、今までの保守的な考えを変えていくことが大切。
相次ぐ原材料の値上げにより、飲食業界の値上げが次々と発表された。残るは清酒業界がどうなるのか心配。醤油・味噌・清酒・焼酎などは日本の誇る食文化である。それを安売りの目玉にされて、日本人が守っていかなければならないものがないがらにされていることに憤慨している。我々醸造機器メーカーにも大きな責任があると考え、少しでも醸造業界に貢献でき、喜んでいただける年になるよう努力したい。

第2部 「賀詞交歓会」

経済産業省 松浦課長補佐

世界的な株の下落で悲観的な見方が報道されて、地球環境問題もクローズアップされている昨今であるが、子年は繁盛の年ともいわれている。

食品産業のグローバル化を支えているのは醸造機器の業界。日本人口減少社会に向かっているなかで、日本のものづくり技術が世界の中で頑張っていくために、アジアをはじめとする海外市場をいかに取り込んでいくかが重要。

目先には色々大変な問題が山積しているが、今こそ長期的視点にたって国の施策も利用しながら、ブレない経営を是非やっていただきたい。



日本酒造組合中央会 浅見副会長

四大課題を全て成就し新しい年を迎えた。

- ① 中小酒造事業者の税制の特例、さらに5年間の延長が認められた。
- ② 清酒製造業近代化事業基金の返済期限が5年間延長された。
- ③ 悲願であった、事業ができる新組織「日本酒造協同組合連合会」が設立認可され、4月1日から事業開始となる。
- ④ 焼酎の需要開発特別会計が創設され、本格焼酎・泡盛をしっかりとアピールするための事業として確立させたい。

以上のことを礎にして、これからの変化と進歩に対応していく年にしたい。

(四大課題の解説は、P 4に掲載)

関西醸造用品組合 高木理事長

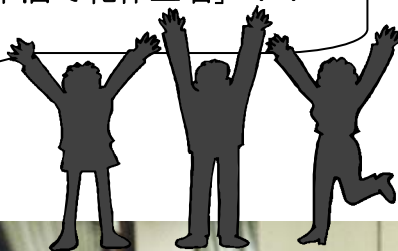
3組合が連携をとりながら、お互いの社運の発展に貢献できる年に！

「日本酒で乾杯！」

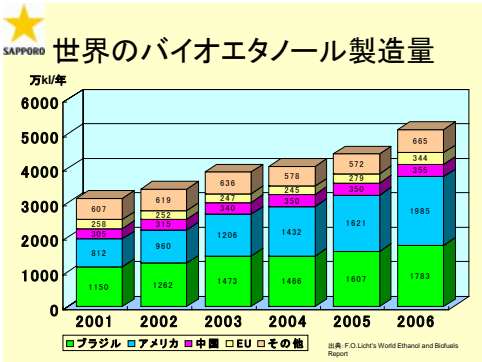


喜多副理事長

中締め「日本酒で乾杯三唱」！！



新春セミナー「バイオエタノールの現状と日本での取り組み」 配布資料抜粋



★ SAPPORO エタノール政策

- 安倍首相の指示を受け、農水省は2030年には600万klのバイオエタノールが生産可能との試算を発表。(07年2月)
- 燃料用エタノール規格を定める
- 大阪や宮古島では環境省が実証試験を開始
- E3、ETBEの決着はまだ付いていない
- バイオエタノールに関する税制は未整備
- 資源作物等に対する補助政策は未整備



★ SAPPORO 稼動/計画中のバイオエタノール生産設備

設備名	原料	年間生産量
バイオエタノール・ジャパン関西	廃建材	1,400kl→4,000kl
北海道農協十勝エタノール工場	小麦、てん菜	15,000kl
オエノン苫小牧エタノール工場	米	15,000kl
JA全農新潟エタノール工場	米	1,000kl
りゅうせき宮古島エタノール設備	廃糖蜜	100kl

★ SAPPORO 2030年バイオ燃料製造可能量

原料	2030年エタノール換算量
糖・澱粉質	5万kl
草本系(麦わら、稲わら等)	180万kl~200万kl
資源作物	200万kl~220万kl
木質系	200万kl~220万kl
バイオディーゼル燃料等	10万kl~20万kl
合計	600万kl程度

出典: 農林水産省資料

★ SAPPORO 各国のバイオエタノール状況

	ブラジル	米国	EU	中国	タイ	日本
混合方法	直接混合	直接混合	直接、ETBE	直接混合	直接混合	直接、ETBE
生産量	1,783万kl	1,985万kl	344万kl	355万kl	24万kl	0万kl
原料	サトウキビ	トウモロコシ	小麦、大麦、ライ麦、てん菜	タピオカ、トウモロコシ	タピオカ、サトウキビ	米、小麦、ビール
混合率	20~35% E100もあり	10% E85もあり	2~5% E85もあり	10%	10%	3%

出典: F. O. Litch's World Ethanol and Biofuels Report, 農林水産省資料

★ SAPPORO 日本でのエタノール生産コスト

単位: 円/L

原料	原料費	製造費	ガソリン税	合計
米(食用)	447	49	53.8	550
米(原料米)	45	49	53.8	148
小麦(食用)	295	46	53.8	395
規格外小麦	52	46	53.8	152
糖蜜	7	83.4	53.8	144
ガソリン	71.6(卸価格)		53.8	125

原料米の価格は20円/kgで試算
出典: 農林水産省資料

★ SAPPORO 米国などでのエタノール生産コスト

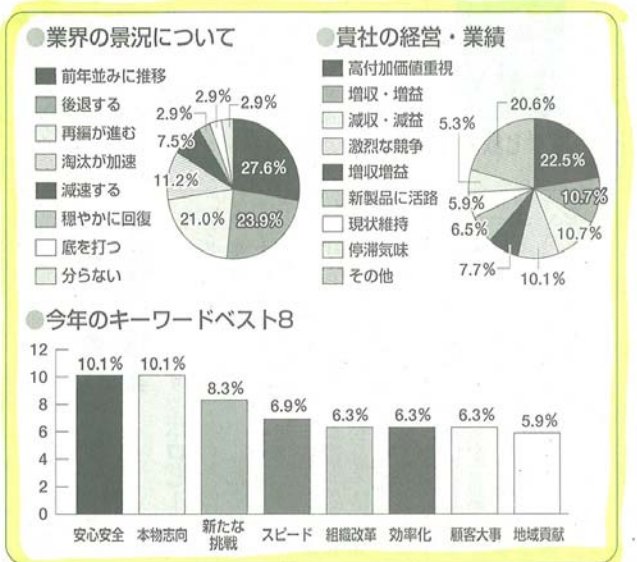
単位: 円/L

原料	原料コスト	加工コスト	合計
とうもろこしドライミル	16.0	15.7	31.7
とうもろこしウェットミル	12.1	19.0	31.1
サトウキビ	44.6	27.7	72.4
ビート	47.7	23.2	70.9
糖蜜	27.4	10.9	38.3
タイ糖蜜試算			
ブラジルサトウキビ試算	14.8	4.6	19.4

★ SAPPORO バイオエタノール設備に使われる技術

- 前処理
 - 物理的前処理: 分級、乾燥、凍結、粉砕、蒸煮、爆砕、加圧、減圧、過熱
 - 化学的前処理: 酸、アルカリ処理等
- 液化、糖化
 - 連続液化、加水分解法、酵素法
- 発酵
 - 高温発酵、繰返回分発酵、連続発酵、回分発酵、単行復発酵、並行復発酵
- 蒸留
 - 連続蒸留、エネルギー回収、濃縮、脱水

東北の企業経営者アンケート調査・・・「安心・安全」「本物志向」を優先



世界的な原油価格の高騰や、穀物需要の逼迫などを要因とした原材料費上昇トレンドの長期化は必至とみられ、生産コスト増は避けられない状況となっている。醸界協力新聞社がまとめた「東北の酒類食品業界百人アンケート」の結果は：「前年並みに推移する」と判断した経営者が3割近くいた反面、景気は「後退する」「減速する」と回答した人が3割を越したことから、景気の「後退・減速」が強まっていることがうかがえる。

本調査は、醸界協力新聞社が今年1月に、東北の酒類食品企業約150人の社長や役員などを対象にアンケートを実施。

日本酒造組合中央会 4大課題 解説

① 税制の特例

与党の平成20年度税制改正大綱で、租税特別措置法第87条の適用期限を平成24年度(平成25年3月末)まで5年延長が認められた。

軽減税率は、清酒、単式蒸留しょうちゅうとともに、平成20年度から平成22年度までの3年間は、25%、平成23年度及び平成24年度は20%と5%の縮減となる。

② 清酒製造業近代化事業基金の返済期限延長

平成20年度及び平成21年度において返済期限が到来する「基金」の期限延長が認められた。この結果、主な人材育成事業が継続実施できるほか、東京での「日本酒フェア2008」開催や、各種の地方イベントの開催などが可能となる。

③ 事業ができる新組織「日本酒造協同組合連合会」を創立

◇原料米の価格折衝力強化とコスト合理化の実現へ向けて、業界待望の新組織始動開始。

◇当連合会は、原料米や副原料、容器包材等の共同購入事業等を一元的に実施することにより、清酒、単式蒸留焼酎及びみりん二種の製造コスト削減と需要促進を図ることを主な目的とするもの。

◇業界の悲願である「原料米の価格折衝力強化」と「コスト合理化」を実現する切り札として、その設立は長年の懸案事項となってきた。

◇一方、昨年1月の独禁法改正により、中央会が全農・全集連との間で行っている加工米の数量・価格等の取り決めが独禁法に抵触する恐れが生じたことから、同法の適用除外となる中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合連合会の設立問題が急浮上した。

◇主な事業は、

①加工用米等の酒造用原材米の購入斡旋と組合員への供給、②原料米アルコール等副原料の購入斡旋と組合員への供給、③規格統一びんや段ボール等の容器包装資材の購入斡旋と組合員への供給、④組合員の製造する清酒、単式蒸留焼酎、みりん二種等の販売(卸・小売)他。



④ 単式蒸留しょうちゅう業需要開発特別会計の創設

外国産焼酎や連続式・単式蒸留混和焼酎の市場への参入等により、需要振興策の維持が不可欠となっており、需要開発特別会費の拠出により、特別会計を創設するもの。

今号の一言名言

「人間は負けたら終わりなのではない。辞めたら終わりなのだ」

リチャード・M・ニクソン